

2018 Spring Local Business Student Collaborative Project

愛知県立大学「地域ものづくり学生共同プロジェクト成果発表会」を開催します**グローバル展開を目指す地元企業を取材し、多言語での広報提案を行います。**

本学では、学生がグローバル展開を目指すこの地域の企業を取材し、企業が抱える課題と向き合い多言語での企業情報発信やインバウンド戦略の提案等を行う、プロジェクト型の授業に取り組んでいます。企業とのワークショップや現場視察を通じて、企業や商品を研究し、展開先の国・地域ごとに企業や商品のターゲット層を決定し、その魅力が伝わるよう相手の文化的背景も考慮した情報発信を目指しており、企業においても、学生が制作した多言語記事が活用されています。このプロジェクト体験により、学生はグローバル社会に必要なスキルや言語能力を磨くとともに、地域産業に関心をもつきっかけにもなっています。

今学期は、「伝統を守りつつ新たなチャレンジを目指す企業」と連携します。小麦にこだわった「きしめん・うどん」、愛知の醸造文化の流れをくむ「守口漬」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「美濃和紙」を扱う企業を取り上げます。なお今回の授業実施にあたり、大垣共立銀行、ジェトロ（日本貿易振興機構）名古屋の御協力をいただいております。

成果発表会では、参加企業の担当者に対して学生がプレゼンテーションし、意見交換を行います。地元企業に対する学生の研究成果を、ぜひ、取材くださいますようお願い申し上げます。

日時：2018年7月28日（土）13:30～16:30
（受付13:00～）

場所：住友生命名古屋ビル8階
名鉄観光サービス(株)会議室
（名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号）

参加者：愛知県立大学学生、教職員
参加企業担当者、JETRO名古屋、
大垣共立銀行など

2018年度前期参加企業（3社）

株式会社金トビ志賀（蒲郡市）
<http://www.kintobi.com/index.html>
株式会社大和屋守口漬総本家（名古屋市）
<http://www.moriguchizuke.co.jp/>
石川紙業株式会社（岐阜県美濃市）
<http://www.ishikawa-shigyo.com/>
これまでの学生作成記事は、iCoToBa（多言語学習センター）Webサイト「iCoToBaの刊行物」からご覧いただけます。
(<http://www.for.aichi-pu.ac.jp/icotoba/>)



企業担当者とのアイデアソン



訪問取材の様子



2017年度後期成果発表会

※愛知県立大学「グローバル実践教育プログラム」について

本学では、国際社会だけでなく、地域社会のニーズに応えるグローバル人材の育成に取り組んでおり、2017年から「全学グローバル実践教育プログラム」を実施しています。このプログラムは、地域のグローバル化によって生じた諸課題に取り組み、その解決に貢献することを目的とし、プロジェクト型授業、アクティブラーニング、学部横断的な学びが可能、という特徴を持っています。学生はこのプログラムを通じて、外国語能力育成や異文化理解に加え、課題解決力、マネジメント能力、プレゼンテーション能力、リーダーシップ等、社会で必要となるスキルを身につけることができます。

【本件に関する問合せ先】愛知県立大学戦略企画・広報室（藤本）
愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3 Tel：0561-76-8636
（担当教員：外国語学部国際関係学科教授・宮谷敦美）